

# 全ての町民に関わることなのに

▼図柄入りナンバープレート見本  
＝広報こうら1月号より



# 「彦根」ご当地ナンバー導入 町長独断で決めないで！

## 導入されれば「滋賀」か「彦根」かを 選択することができない制度です

車両につけるナンバープレートを「ひこにやん・彦根城」の図柄入りの「彦根」ナンバーとする「ご当地ナンバー」導入をめぐる、和田彦根市長の提案に対して野瀬町長が住民にも議会にも相談しないまま独断で導入申込みを強行したことに批判が高まっています。13日に賛成8、反対1で可決した「ご当地ナンバー」導入の再考を求める決議」を抜粋して紹介します。（小見出しは編集者）

### 【分かった事柄】

▼国土交通省が募集した事業  
彦根・愛知・犬上郡圏域で多賀町、豊郷町、愛荘町は参加しない意向

▼彦根市単独でご当地ナンバーを導入するには車両台数の要件が満たないことから和田彦根市長が提案し、野瀬町長が昨年8月に応じた

▼広報「こうら」1月号でアンケートを実施  
IIオンライン（スマホにて）

▼回答数は甲良町169人（彦根市との合計で4,894人）

▼町内の賛成者は113人（賛成69、どちらかといえば賛成32、どちらでも良い12の合計数）

▼参考として実施されたアンケートの事実も知らない町民が多い。

### 【以下、決議の後半】

本議会は、町民の意向を無視して「ご当地ナンバー」導入に反対している訳ではなく、車両の新規登録の際には「滋賀」か「彦根」を選択できなくなり、

「彦根市民でもないのに『彦根』ナンバーの車では違和感がある」などの声があり、多くの町民が知らない内に町長の独断で強引に進めようとしている現状を問題にしている。

### 導入再考を

以上のことから、

また、町長は「地域振興、産業、人口増加など、町の活性化につながる」などと述べているが、車両ナンバーを新しく図柄入りに変えることで、どうして「活性化」につながるのか全く説明責任が果たされていない。何よりも、我が町内の登録車両と軽自動車合計台数6,590台の内、わずか169人（2.5%）参加のアンケートでは町民合意とは到底言えず、導入が決まれば、「滋賀」

か「彦根」かの選択ができない制度を町長独断で決定することは承服できない。

①なぜ「ご当地ナンバー」を彦根市と合同で導入したいのか明らかにすること、②なぜ導入すれば地域活性化につながるのか充分なる説明責任を果たし、③導入することによって町民に迷惑や不都合をかけることがないか検証すること、④紙媒体などで全ての有権者を対象としたアンケートを実施し、⑤町民合意が整うまで導入申込み再考すること。以上、決議する。

### 西澤議員の話

～熱中する課題が違うのでは～  
野瀬町長が、昨年8月には彦根市長に導入同意を伝えておきながら半年近くも報告せず、申込期限の3月に入って、3日に正式議題とし、10日には県に申し込むという「独断専行」は許せません。議員の質問で、明らかになった1月実施のアンケートは、回答者169人、車両保有総台数6,590台の内わずか2.5%にしかありません。これではアンケート実施とは言えません。また、導入の理由として「町の活性化、甲良町のイメージの悪さ解消につながる」などといいますが、全く理解できません。こんなことに熱中している場合ではなく、全ての町民が安心して暮らせるために医療・介護・子育て・教育にこそ力を注ぐべきではないでしょうか。

## 甲良民報

2023年3月19日 879号  
発行責任：日本共産党甲良町議員  
連絡：甲良町在士 373（西澤）  
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949 丸山光雄 38-3123

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】